

施工説明書

壁埋込型サーモスタット(埋込部)

この説明書をよくお読みの上、正しく施工してください。

施工の前に

- 本製品が十分に機能するように、この施工説明書の取付手順に従って作業を進めてください。
- この施工説明書に記載されていない方法で施工が行われ、故障等が発生した場合、製品の保証には一切応じかねます。
- 取付完了後は必ず製品に通水し、正常に機能することを確認してください。
- この施工説明書は、製品の最終使用者にお渡しください。

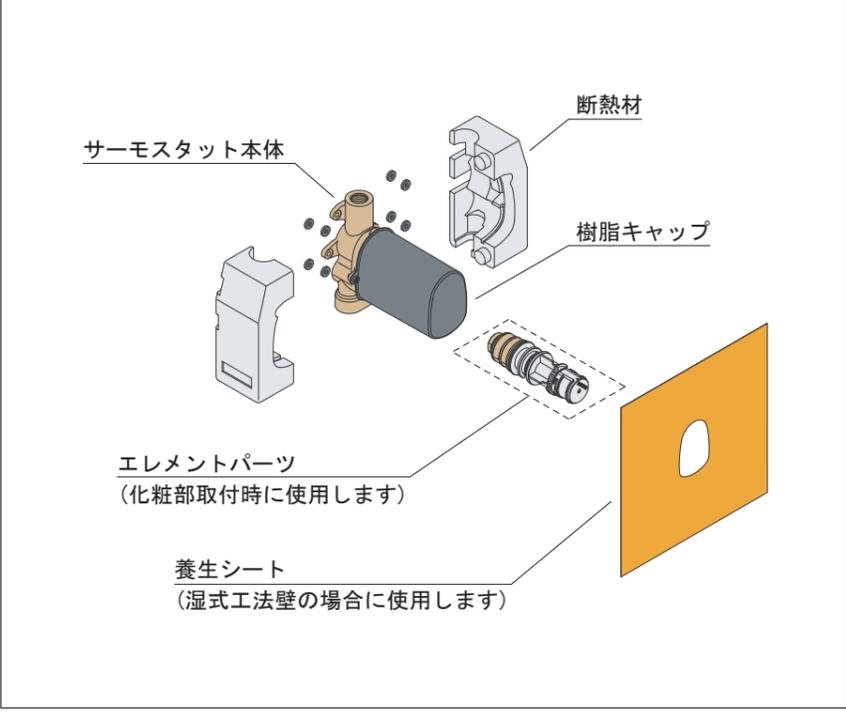
使用条件

- 推奨使用圧力 0.25MPa~0.5MPa
- 最低使用圧力 0.1MPa ■最高使用圧力 0.5MPa ■最高使用温度 80°C
- ※ 給水圧力が0.5MPaを超える場合は、減圧弁などで適正圧力に減圧してください

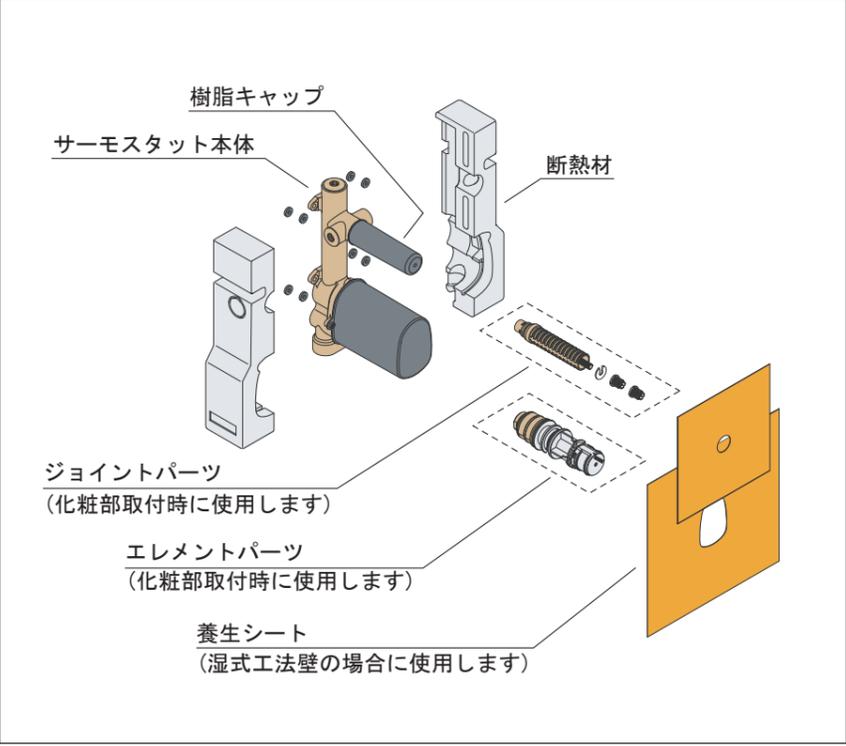
I. 埋込部の取付

■部品確認

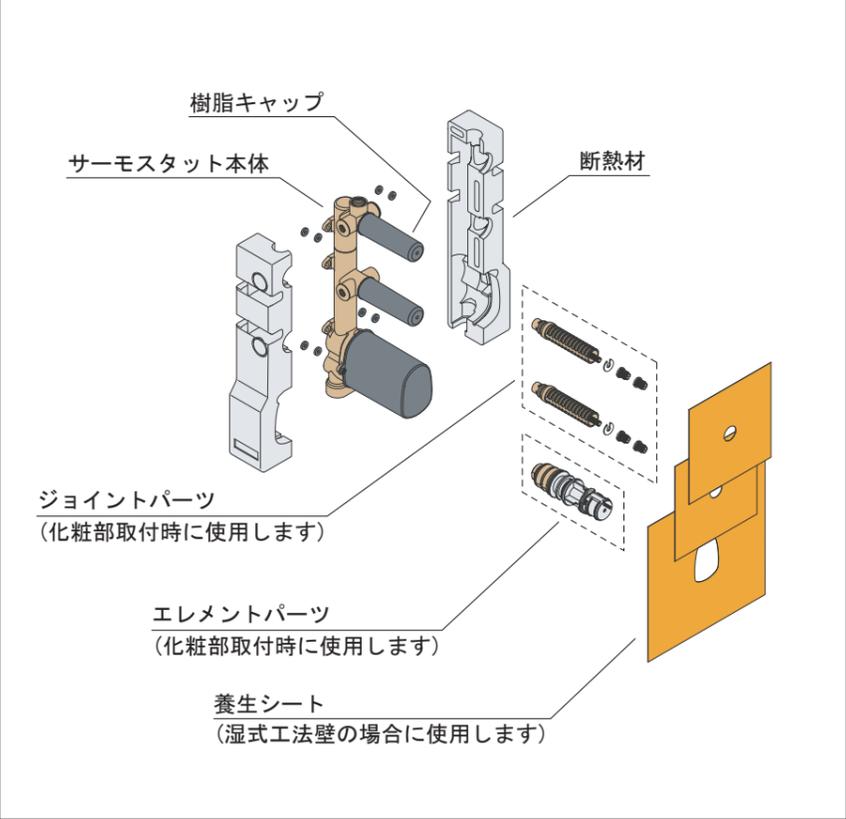
品番 : 35.416.970.90 / 35.417.970.90 / 35.516.970.90 / 35.517.970.90



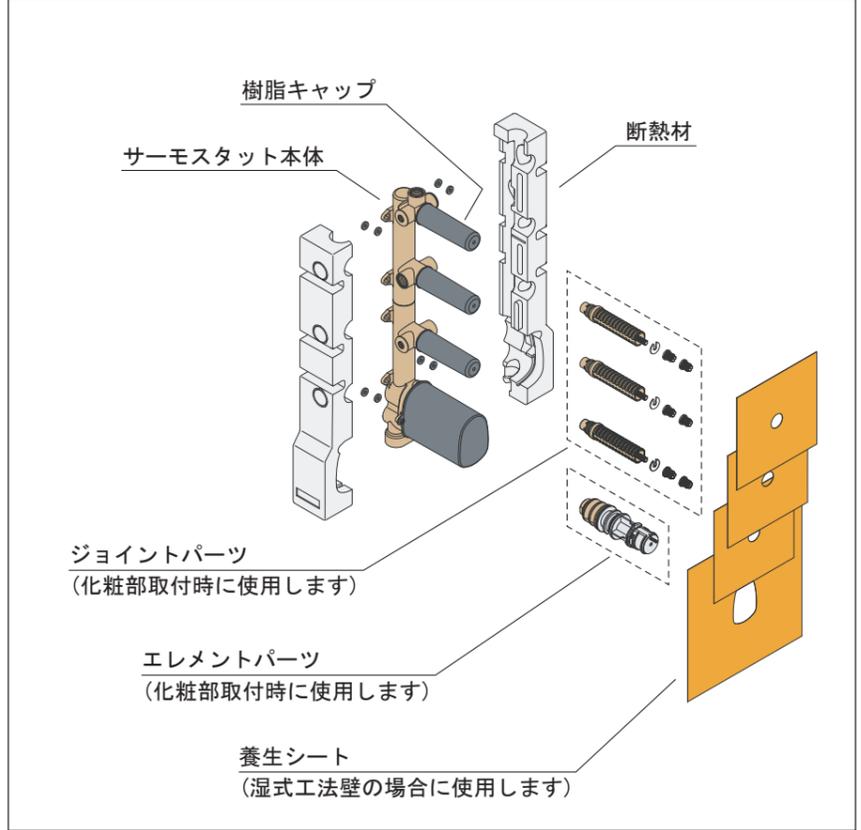
品番 : 35.436.970.90 / 35.437.970.90



品番 : 35.526.970.90 / 35.527.970.90

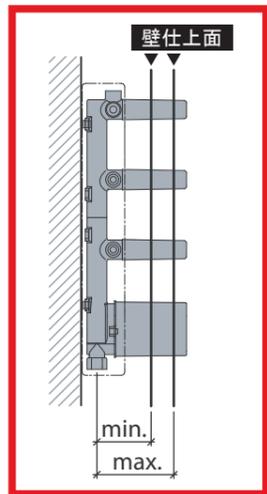


品番 : 35.536.970.90 / 35.537.970.90 / 35.546.970.90



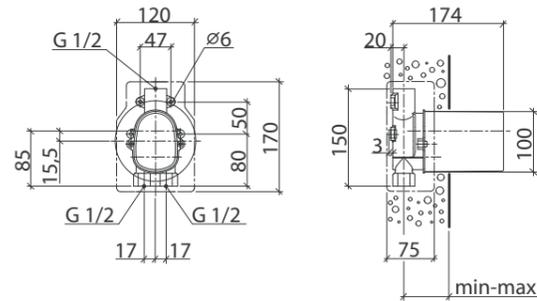
■寸法図

- 注意**
埋込寸法が異なると、化粧部を正しく取り付けられないことがあります。
- 実行**
埋込部の埋込寸法(下図のmin-max寸法)は化粧部の品番により異なります。化粧部の品番と下記の対応表を必ず確認してから取付けを行ってください。

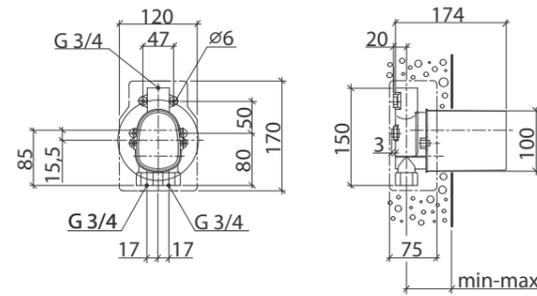


化粧部品番		埋込寸法
バルブハンドル	サーモスタット	min~max
36.310.710.XX	+ 36.416.710.XX	50~90
36.310.979.XX	+ 36.416.979.XX	70~90
36.310.882.XX	+ 36.416.979.XX	70~137
36.310.892.XX		
36.310.730.XX		
36.310.980.XX	+ 36.416.985.XX	92~137
36.310.985.XX		
36.310.730.XX	+ 36.416.780.XX	92~137
36.310.780.XX		

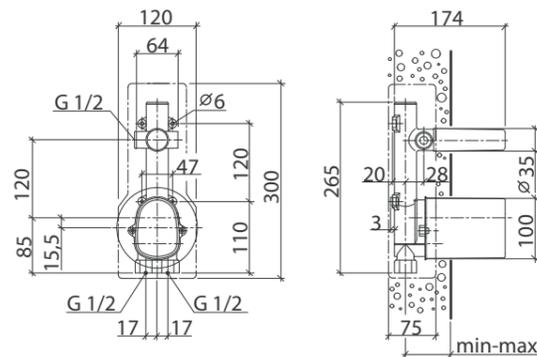
品番 : 35.416.970.90 / 35.417.970.90



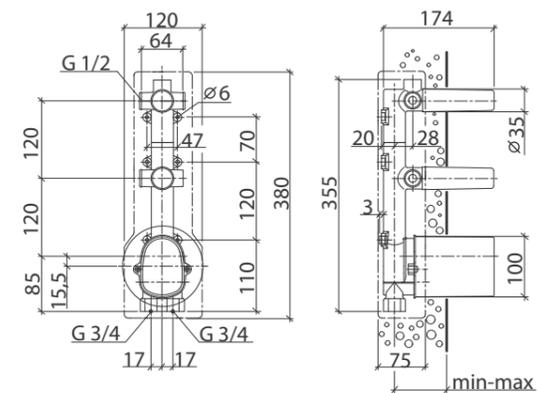
品番 : 35.516.970.90 / 35.517.970.90



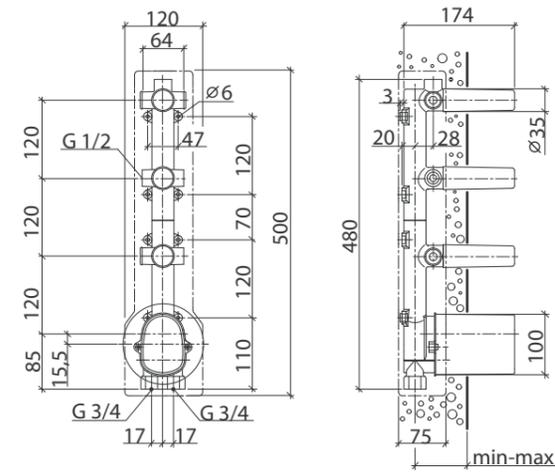
品番 : 35.436.970.90 / 35.437.970.90



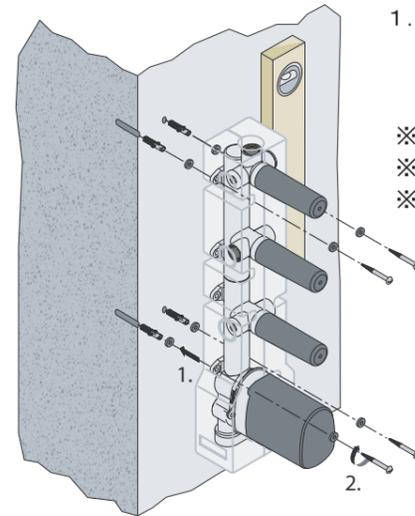
品番 : 35.526.970.90 / 35.527.970.90



品番 : 35.536.970.90 / 35.537.970.90 / 35.546.970.90

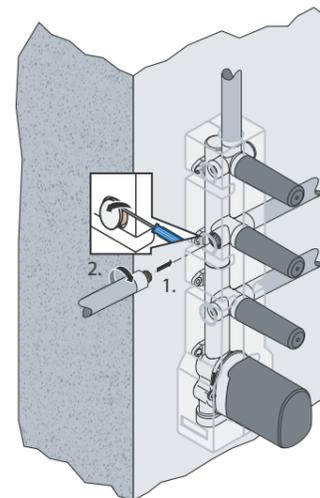


■ 取付手順

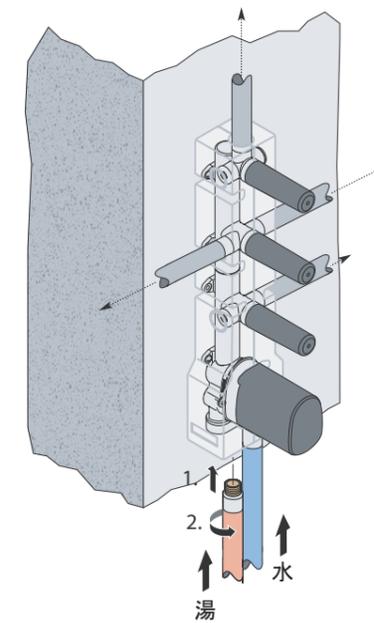


1. 樹脂キャップが付いた状態のまま、埋込部本体を躯体または補強材等に取付ネジで固定します。

- ※ 取付ネジピッチ : 寸法図参照
- ※ 埋込部本体は水平垂直に固定してください。
- ※ 樹脂プラグは必要に応じて使用してください。



2. ドライバー等を使って接続部位を覆っている断熱材を外し、シャワーや吐水口などの末端器具を確実に接続します。



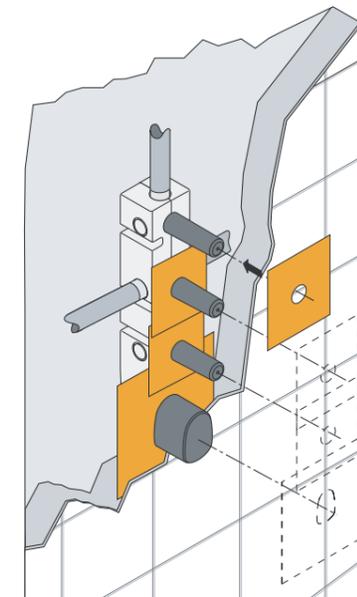
3. 正面から見て、本体下部右側に給水管、左側に給湯管を確実に接続してください。また、使用しない接続部位が、プラグキャップで確実にふさがれていることも確認してください。

- ※ 湿式工法壁の場合、壁面仕上工事を行う方に、この施工説明書と養生シートを必ずお渡しください。

取付完了

湿式工法壁へ取り付けている場合には、下記の手順に進んでください。

湿式工法壁の場合



4. すべての樹脂キャップに養生シートを通し、壁面仕上材(タイル等)の真裏に養生シートを挟み込むようにして壁面を仕上げます。(左図参照)

- ※ 養生シートは、壁面仕上工事を行う方に必ずお渡しください。

取付完了

製造

DORN
BRACHT

ドンブラハ社
(ドイツ)

販売

株式会社 リライズ

〒106-0031
東京都港区西麻布3-16-28
TEL : 03-3479-9202~4
FAX : 03-3479-9200

施工説明書

壁埋込型サーモスタット(化粧部)

この説明書をよくお読みの上、正しく施工してください。

対象品番 : 36.416.710.XX / 36.416.780.XX / 36.416.977.XX / 36.416.978.XX / 36.416.979.XX

※品番中の「X」は任意の数字

施工の前に

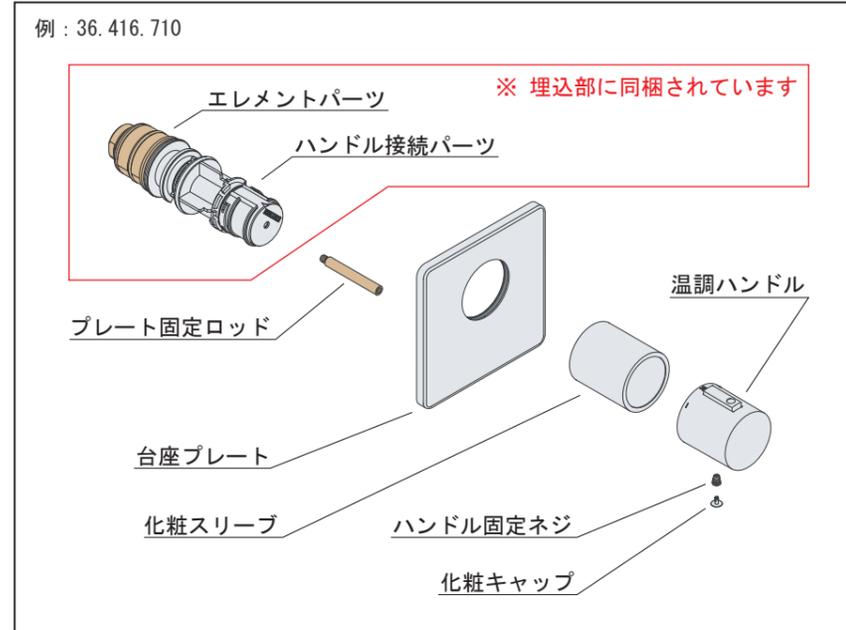
- 本製品が十分に機能するように、この施工説明書の取付手順に従って作業を進めてください。
- この施工説明書に記載されていない方法で施工が行われ、故障等が発生した場合、製品の保証には一切応じかねます。
- 取付完了後は必ず製品に通水し、正常に機能することを確認してください。
- この施工説明書は、製品の最終使用者にお渡しください。

使用条件

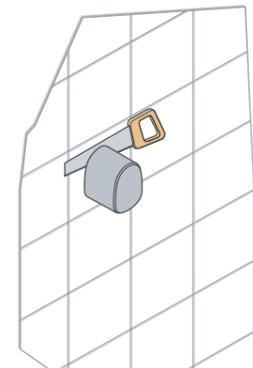
- 推奨使用圧力 0.25MPa~0.5MPa
- 最低使用圧力 0.1MPa ■最高使用圧力 0.5MPa ■最高使用温度 80°C
- ※ 給水圧力が0.5MPaを超える場合は、減圧弁などで適正圧力に減圧してください

化粧部の取付

■部品確認

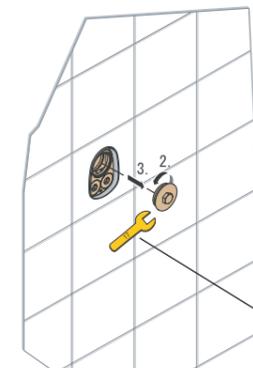


■取付手順



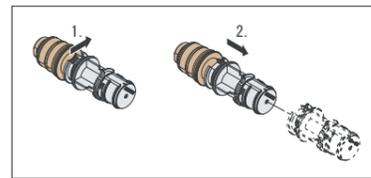
- ### 1. 設置済み埋込部樹脂キャップのカット
- ①すでに設置してある埋込部の樹脂キャップを壁面と面一でカットします。このとき、仕上げ済みの壁面を傷つけないように注意してください。

! 樹脂キャップの周囲に生じる壁仕上面との隙間には必ずコーキング等で止水処理を行ってください。



- ②樹脂キャップをカットしたら、埋込部本体に装着されているプラグをスパナ等で取り外します。プラグを外した後は、内部にゴミなどが入らないように十分ご注意ください。

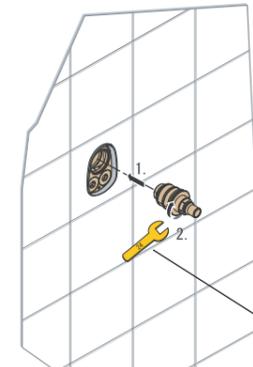
スパナ:17mm



- ### 2. プレート固定ロッドの切取寸法の決定と切取
- ①エレメントパーツからハンドル接続パーツを外します。

次に行う作業は品番により異なります。品番を確認の上、下記の手順へ進んでください。

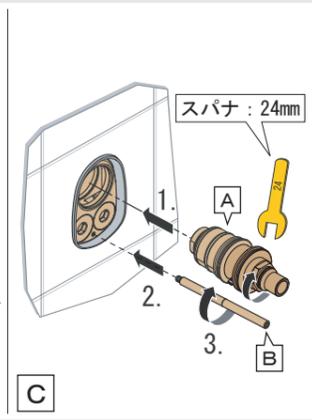
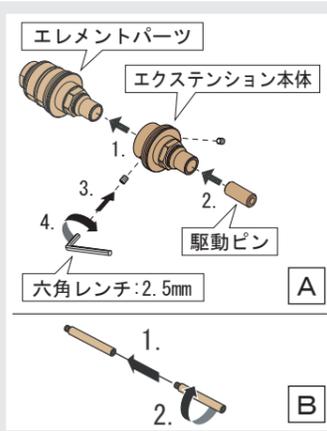
- 36.416.780の場合 ▶ 最下段 【36.416.780の場合】へ
- 36.416.780以外の場合 ▶ そのまま手順②へ



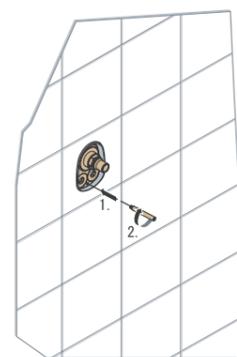
スパナ:24mm

- ②埋込部本体にエレメントパーツを取り付けます。 ※ 工具を用いて確実に締め付けてください。

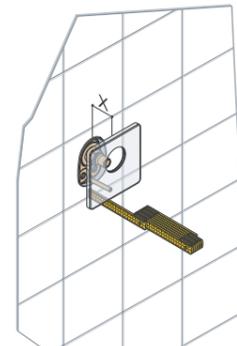
▶ 右列上段 手順③へ



- ### 【36.416.780の場合】
- A. +28mmエクステンション本体をエレメントパーツに取り付け、駆動ピンを差し込みます。
 - B. プレート固定ロッドを2本つけます。
 - C. 埋込部本体にAとBで組立てたパーツを取り付けます。
- ▶ 右列上段 手順④へ



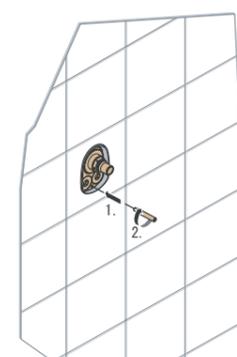
- ③プレート固定ロッドを埋込部本体下部に取り付けます。



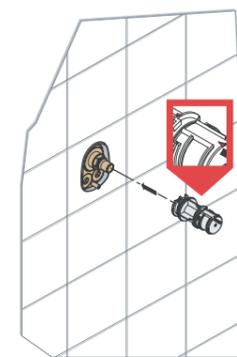
- ④台座プレートをプレート固定ロッドに押し当てながら、壁面と台座プレート下端の距離Xを測定します。 ※壁面と台座プレートが平行になっていること確認してから距離Xを測定してください。



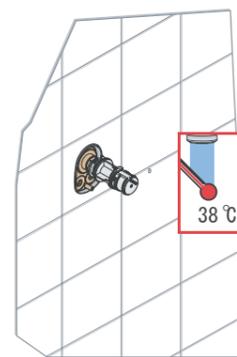
- ⑤プレート固定ロッドを、手順④で測定したXの寸法分切り取りします。 ※切取作業後、切断面をヤスリ等で軽くならしておいてください。



- ⑥Xの寸法分切り取ったプレート固定ロッドを、埋込部本体下部に再度取り付けます。 ※確実に締め付けてください。



- ### 3. 温度の調整
- ①ハンドル接続パーツをエレメントパーツに取り付けます。 ※ 36.416.780の場合は+28mmエクステンションパーツに取り付けます。 ※三角形のマーキングが真上にくるように取り付けてください。

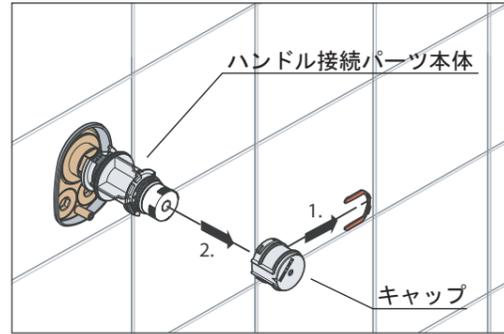
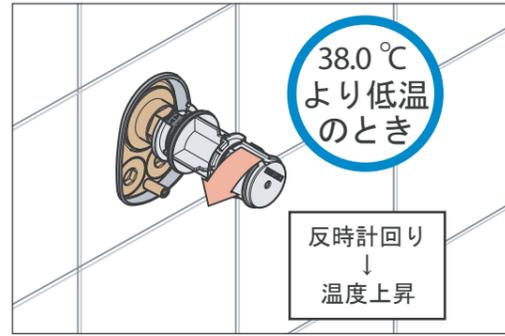
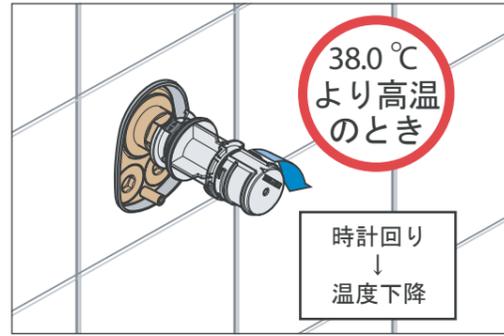


- ②製品に通水し、末端器具からの吐水温度を計測します。 ※湯温が必ず安定した状態で計測してください。

湯温が 38.0°C ちょうどの場合 ▶ 裏面左列中段 【高温防止ストッパーの設定】へ

湯温が 38.0°C ちょうどではない場合 ▶ 裏面左列上段 手順③へ

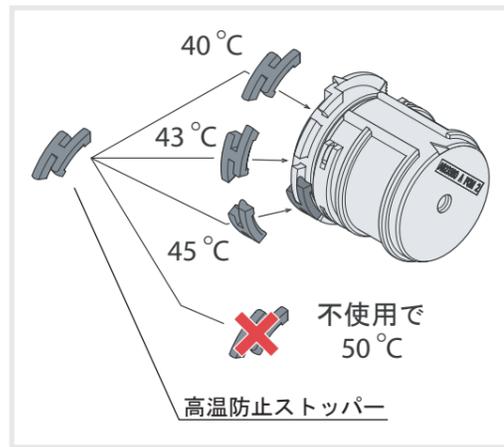
③下図にしたがってハンドル接続パーツを回し、吐水温度が38.0℃になるよう調整します。



④吐水温度が38℃になったら、状態のままハンドル接続パーツ本体のキャップを外します。

※キャップを外す際、ハンドル接続パーツ本体が回転しないように注意してください。

※サーモスタットの最高温度設定を変更する場合は、下記の【高温防止ストッパーの設定】作業を行ってください。

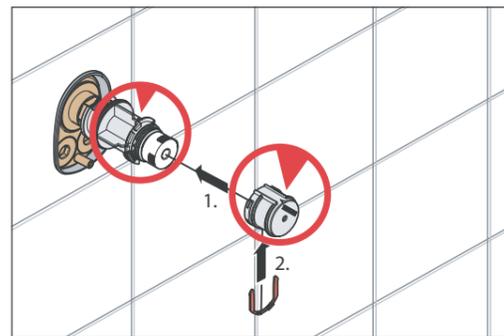


⑤【高温防止ストッパーの設定】

高温防止ストッパーは、あらかじめ45℃に設定してあります。

サーモスタットで設定できる最高温度を変更する場合は、左図にしたがい高温防止ストッパーの装着位置を変更してください。

※設定は40℃、43℃、45℃、50℃の4通りから選択してください。



⑥キャップに印されている三角形のマーキングを真上にして、キャップを再びハンドル接続パーツ本体に取り付けます。

※ハンドル接続パーツ本体にも、キャップと同様に三角形のマーキングが印してあります。キャップ最取付時の目安にしてください。

※吐水温度の38℃設定作業が済みましたら、速やかに止水してください。

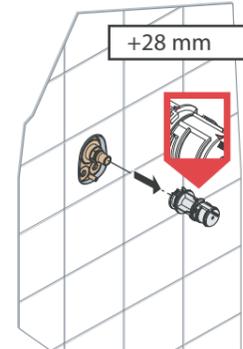
4. エクステンションパーツの取付

※化粧部の品番により、使用できるエクステンションパーツが異なります。

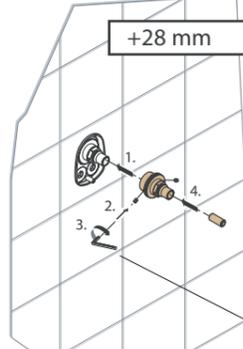
36.416.780 以外の場合 → +28mmエクステンションパーツ (別売)
+46mmエクステンションパーツ (別売)

36.416.780 の場合 → +46mmエクステンションパーツ (同梱)

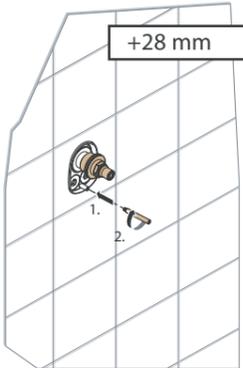
図は+28mmエクステンションパーツを使用する場合です。
(+46mmエクステンションパーツを使用する場合も、同様に作業を行ってください。)



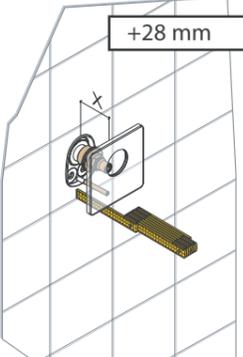
①ハンドル接続パーツを、エレメントパーツから再度取り外します。



②+28mmエクステンションパーツをエレメントパーツに取り付けます。

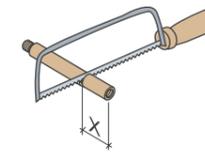
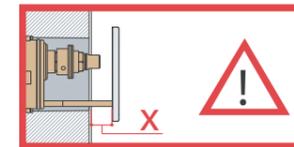


③プレート固定ロッドを2本または3本つなげて延長し、埋込部本体下部に取り付けます。



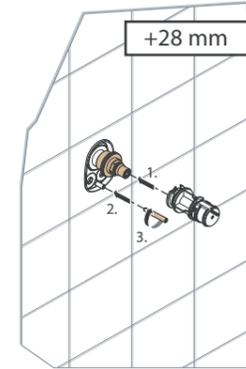
④台座プレートをプレート固定ロッドに押し当てながら、壁面と台座プレート下端の距離Xを測定します。

※壁面と台座プレートが平行になっていること確認してから距離Xを測定してください。



⑤プレート固定ロッドを、手順④で測定したXの寸法分切り取ります。

※切取作業後、切断面をヤスリ等で軽くならしめてください。

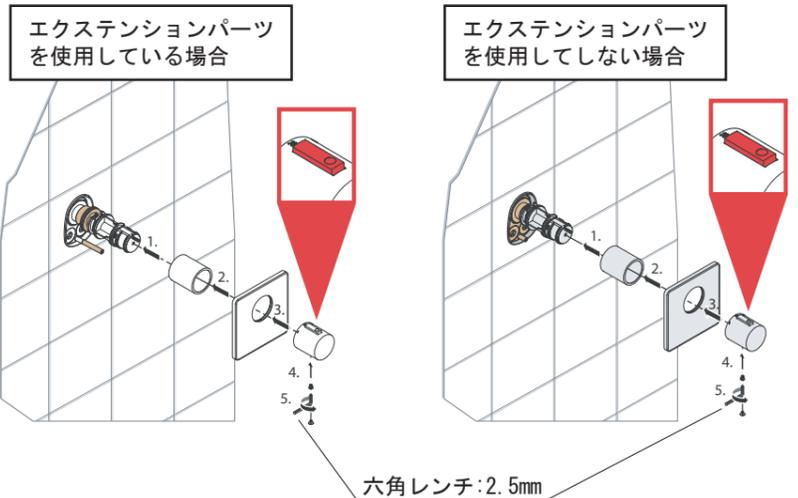


⑥Xの寸法分切り取ったプレート固定ロッドを、埋込部本体下部に再度取り付けます。

※確実に締め付けてください。

5. 温調ハンドルの取付

- ①ハンドル接続パーツに化粧スリーブを通します。
- ②化粧スリーブに台座プレートを通します。
- ③ストッパーを真上にして、温調ハンドルをハンドル接続パーツにかぶせます。
※ハンドル接続パーツのキャップに印してある三角形のマーキングを目安にしてください。
- ④ハンドル固定ネジで温調ハンドルを固定し、化粧キャップを装着します。



6. 動作確認

ハンドルの動き、およびストッパーが確実に作動することを必ず確認してください。

取付完了

エクステンションパーツを使用する場合 → 中央列上段 手順4へ

エクステンションパーツを使用しない場合 → 右列中段 手順5へ

製造

DORN BRACHT

ドンブラハ社 (ドイツ)

販売

株式会社 リライズ

〒106-0031 東京都港区西麻布3-16-28
TEL : 03-3479-9202~4
FAX : 03-3479-9200

2007.01